

西光寺だより

第一〇九号 令和元年 九月一日発行

9月の台風シーズンを前に、今年はお盆に大型台風が中国地方を縦断しました。その強風に昨年9月の台風21号の記憶が鮮烈によりみができることでもあります。台風21号は近畿地方を縦断し、これまでに経験したことのない猛烈な風が吹き荒れました。京都西本願寺も被害に遭い、各地で屋根瓦がずれたりなどの被害が出たことでもあります。

近年は、地球環境の変化からか、異常な天候が続きました。今年も梅雨入りが遅く7月は冷夏ともいえる低温が続きました。にもかかわらず、8月に入ると急激に酷暑となり、猛暑日が続きました。

日々の変化に、例年のように、ということではなく、一日一日を特別なことと受け止めながら、自然と向き合っていく。

まだまだこれからも気候変動の日々が続くと思いますが、皆様お身体に気をつけていただきまして、自分の出来ることを精一杯、歩みたいと思うことであります。

合掌

◆先月の報告◆

8月15日(木)、西光寺本堂にて盂蘭盆会法要を厳修致しました。台風の影響で大変な雨・風の中お集まりいただき、皆さんで仏説阿弥陀経のお勤め、お焼香を致しました。

そしてこの日は74年を迎えた終戦の日でもありました。今のこの日、この時代、そしてこのいのちがあるのも、さまざまな方々のいのちと時代の上にあるからこそであるという思いと、それぞれの先祖様への思いを合わせながらのひとときでありました。

そして今年の盂蘭盆会法要は雨でありました。ふと思いつくこと、それは盂蘭盆会の由来となった時期はこんな雨の多い時期であったということでもあります。

盂蘭盆会は、もとはお釈迦様の弟子の母が餓鬼の世界に落ち苦しんでいる様子を神通力で見つ、お釈迦さまに救いを求め、無事に救われてゆくという

故事が由来であります。

そして、8月15日。旧暦の7月15日、元来インドでは、4月15日(7月15日までの90日間)は雨の時期で、日本の梅雨に相当するものであります。この期間は、河川氾濫し草木繁茂し、諸種の虫類這い出す時であり、誤ってこれを踏み殺してはいけないと、僧侶方はこの期間中一切旅行を禁じられ、一定の場所にとどまって仏の法を聞き、また、研究や修行に没頭したのであります。

その最終日すなわち7月15日に、お釈迦様が「汝一人の力では母を救うことはできない。ただ、7月15日には多くの僧侶方が研鑽される最終日を迎える。その時に、盆器に百味の飲食などの供物を入れて、僧侶方を供養しなさい。そうすればその功德によって、苦しみから解放されるであろう。」と示され、亡母が救われたのがまさしく広く世に行われる盂蘭盆会の仏教行事であります。

そして、この日は雨。その昔、インドでの思いをよせながら、皆さんで、同じ場所で、同じお勤め、同じ姿勢で、同じ方向に感謝の合掌礼拝。盂蘭盆会の由来の中にある風景を感じながらの時間でありました。ありがとうございます。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七二

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>

◆《浄土真宗三択クイズ・4》

Q 1, 孟蘭盆会の由来となった故事は？

d, 仏弟子の亡母を救った話

e, 賽の河原で子供を救ったお地蔵さんの話

f, 石川五右衛門が地獄の釜の蓋を開けた話

Q 2, 孟蘭盆会の孟蘭盆の意味は？

d, 逆さ吊りの苦

e, 食べたいものが食べられない苦

f, 身体が燃える苦

Q 3, 孟蘭盆会の由来となる神通第一の称の十大弟子は？

d, 目連尊者

e, 舍利弗

f, 阿難

Q 4, 浄土真宗では、孟蘭盆会を別名なんというのでしょうか？

d, 歓喜会

e, 修正会

f, 念仏会

◆九・十月の行事◆

・九月〳 在家報恩講

・九月 十八 日(水)

大谷本廟墓参 (みのり講・穂積講の方)

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。
行かれない方は千円を西光寺、又は出席される方におことづけ
頂きますようお願い致します。
年に一度の皆さままでの大谷本廟墓参、お参り致しましょう。

・九月 二十五日(水)

仏教婦人会報恩講

午後一時

西光寺本堂

・九月 二十八日(土)

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話

本願寺派布教使

高島

幸博

師